

翻訳に関する基本説明

1. ジーンの翻訳体制：

ジーンの翻訳は、基本的に日本語が堪能なプロの「**ネイティブ翻訳者**」が翻訳を行い、各言語に堪能な日本人チェッカーがチェックを行っております。これにより、日本人が各言語に翻訳するよりも、より自然な翻訳が可能となり、納期も短縮できるため、**品質と納期の両面でアドバンテージ**となっております。

2. 翻訳の見積もり算出方法について： 翻訳のお見積り金額は、次の5つの要素の掛け合わせで決まります。

■ **1. 言語：** 英語、中国語、タイ語…言語が変わると単価も変わります。

■ **2. 内容：** 日常会話的な手紙、医学論文、契約書等、内容によって単価が変わります。

■ **3. 原稿量：** 400文字の翻訳と、10万文字の翻訳では単価が変わります。(量が多いと単価は低くなります)

■ **4. 納期：** 通常納期と急ぎの納期では、特急料金などがつき、単価が変わります。

■ **5. 使用目的：** この使用目的というのは、たとえば「おいしい生活」という1フレーズを英訳してほしい、となった場合、これが社内文書で使う場合と、歌の歌詞の一部として英訳する場合と、ニューヨークタイムズ1面広告のキャッチコピーとして使う場合では、翻訳のやり方も考え方も金額も、すべて変わってまいります。

このように、翻訳の見積もりは多くの要素の掛け合わせで決まるので、その都度実際の原稿をお送りいただき、それをどのようにお使いになるかを具体的にご教示いただいた上で初めて正確なお見積りが作成できます。

3. 基本的に翻訳の見積もりは、次の3つのパターンに分かれます。

■ **1. 翻訳のみ：**

弊社で翻訳後、外国語テキストをワード、エクセル等で納品します。納品してそれで終わりというパターンです。

■ **2. 翻訳+流し込み後のチェック：**

弊社で翻訳、納品後、御社側でDTP作業を行い、その後再度弊社で間違いがないかどうかチェックするパターンです。外国語の場合、どうしても日本人デザイナーの間違いが多くなります。間違った場所に配置したり、コピペ作業中、文頭文尾が欠けてしまったことに気づかなかったり、改行位置を間違えて、言葉の意味が変わってしまったり、韓国語のように分かち書きルールを知らないでスペースを詰めてしまって文章の意味が変わったり、フォントを間違えて言語自体が文字化けしてしまったり…、それぞれの言語にはそれぞれのルールがあるので、流し込み後のチェックはとても重要です。

■ **3. 翻訳+DTP（デザインへの外国語テキスト流し込み&アウトライン作業）：**

弊社ですべての作業を行うパターンです。弊社で翻訳後、イラストレータのデザイン、あるいは、ホームページのテンプレートなどに、外国語テキストを流し込んでチェックし、レイアウトしてアウトラインまで取ります。

この3つのうちのどのお見積りが必要かもお伝えください。

■ 4. 直訳と意識

翻訳会社が行う商業翻訳、ビジネス翻訳は、基本的に「直訳」で行います。映画の字幕や文学作品とは異なります。なぜ「意識」を行わないか。意識すると問題が発生し、トラブルの元になるからです。たとえば日本語の原稿を見て、翻訳者が「このフレーズは翻訳しても僕たちアメリカ人には理解できない。意味ない」という理由で勝手に翻訳しなかったとします。納品後、お客様から「なぜこの言葉が入っていないんだ？」とクレームが入る。お客様にとっては、その文言はとても重要な文言だったわけです。このようなトラブルを回避するために基本すべて直訳で行います。

ごく稀ですが、たまにあるクレームとしては「この英語は直訳で少しぎこちない。もっと英語らしいコピーライティング的な表現とかあるでしょう？」と意識を求められるケースです。もし「直訳」ではなく「意識」をすることでより英語的に自然な表現を求められる場合は、お見積りの段階でそのようなお申し出ください。通常の翻訳より料金はUPいたしますが、そのような翻訳も可能です。

翻訳のお見積り & 翻訳ご依頼時のお願い

■ テキストのはぎ取れる PDF ご送付のお願い

デザインもの（パンフレットやリーフレット、その他の印刷物）の翻訳見積りをご依頼の際は、日本語版パンフレット（他）の「テキストのはぎ取れる PDF（イラストレーターでアウトライン前のデータを PDF 化したもの）」か、（お持ちでない場合は）デザイン PDF と一緒に日本語原稿を Word か Excel 等のテキストでお送りください。

日本語テキストがはぎ取れますと、弊社側で見積り時に文字カウントをするにも、翻訳用の原稿を作成するにもとても効率的に作業が行えます。引いては、弊社から翻訳テキストを納品後、お客様のほうで外国語テキストをデザインに流し込む際も、たいへん効率的に作業できます。

例：48 ページのレイアウトの複雑なパンフレットの韓国語版を作りたいというときに、テキストのはぎ取れない PDF しかない場合、その日本語版パンフレットの PDF に番号を振ってナンバリング原稿を作ります。翻訳者は番号を振ったナンバリング原稿の PDF を見ながら、ワードなどでその番号の横に翻訳していきます。ワード上には番号と外国語しかありません。弊社から納品する際は、番号と外国語テキストの入ったワード原稿と、ナンバリング原稿のデザイン PDF をセットで納品します。お客様側では、いちいち番号でナンバリング原稿の場所を確認しながら、外国語テキストを流し込む作業になるので、大変非効率です。最初から「テキストのはぎ取れる PDF」を頂いていれば、Word、エクセル等で日本語原稿を張り付けた翻訳原稿を作成できるので、Word や Excel で同じファイルに日本語と外国語がセットになったファイルを納品できます。そうすれば、日本語原稿も入っているので、ナンバリング原稿のデザイン上でいちいち場所を確認しなくても、効率的に外国語テキストをイラストレーターに流し込むことができます。

翻訳に関する注意事項

※注1： 最小ロット

翻訳、DTP（デザインへの外国語テキスト流し込み・アウトライン）共に、日本語 400 字、英語 200 単語を最小ユニットとさせていただきます。400 字以内の文字量の場合は、すべて 400 字（英語は 200 単語）として換算いたします。

※文字数の数え方について：弊社では、日本語文字数はワードの自動計算機能で、文字カウントの「文字数（スペースを含めない）の文字数を、英語は「単語数」を採用しています。

※注2： 修正・追加・説明作業

- 1. 元の原稿に修正が入った、または追加で翻訳を行う場合は、少量の追加翻訳（400 文字未満）でも、1 言語につき 2000 円～6000 円程度の追加料金が発生いたします（手配&翻訳&チェック料金）。
- 2. 弊社から納品後、翻訳・DTP 共に、弊社の翻訳に対する校正・修正作業は、常識範囲内の内容で 2 回程度とさせていただきます。常識を超えた大量の修正や、翻訳内容に対する大量の説明要求等に関しましては別途料金が発生いたします。
- 3. 翻訳の基準となるガイドライン等がある場合は、必ず翻訳ご注文時にご提供ください。翻訳作業終了後に「このガイドラインに合わせてほしい」と資料を出されても無償では対応できかねます（別途料金が発生します）。
- 4. お客様のほうで元原稿（日本語原稿）を見ないで、弊社で翻訳した外国語テキストだけを見て校正を入れた場合、弊社側での確認・修正作業はお断りしております。例：弊社が翻訳した英語を、お客様の会社社内にいる日本語のよくわからないアメリカ人が英語だけを読んで「もっとこうしたほうがいい」等、書き直しをするような場合のことです。
- 5. お客様側が、弊社の納品した翻訳を他国籍のネイティブにチェック・修正させた場合、問題が発生する可能性が高いです。例：弊社で行った台湾向けの繁体字中国語への翻訳（翻訳者は台湾国籍）を、お客様側で中国国籍（簡体字中国語を使用）のネイティブがチェック・修正した場合、あるいは弊社のアメリカ人がアメリカ英語で翻訳したものを、お客様側で留学経験のある日本人、英語が堪能なインド人、イギリス人、オーストラリア人等、他国籍者がチェック・修正したような場合です。このようなケースでは、弊社で行ったネイティブ翻訳が、お客様の修正指示によって「改悪」されるケースが圧倒的に多くなります。経験上、「改善」されるケースは 1 割程度です。後者であれば喜んで修正させていただきますが、前者の場合、特にあまりに「改悪」がひどい場合は、修正の確認自体も弊社側で拒否させていただく場合がございます。また弊社からの提案をご承諾いただかず、お客様のご判断で弊社の翻訳を変更される場合、弊社は修正後の翻訳には一切責任を負えませんのでご了承ください。※最下欄のコラム参照

※注3： DTP（デザインへの外国語テキスト流し込み&アウトライン作業）：

DTP 料金は、お客様からご支給いただくデータが、アウトライン有り・無し両方のデータ支給が前提となります。アウトライン有りのデータしかない場合、作業に時間がかかるため DTP 料金は 30～50%増しの料金となります。

※注 4： DTP（デザインへの外国語テキスト流し込み&アウトライン作業）の弊社責任範囲：

弊社へのご依頼内容が翻訳+DTP の場合、基本的に弊社が翻訳した外国語テキストのデザイン流し込み+アウトライン（＝文字回りのみ）を弊社責任範囲とさせていただきます。次の作業は対象外となります。デザイン・レイアウト修正（図、写真等を含む）、お客様が用意した外国語テキスト、最初の段階で確定しているタイトル周りの画像修正、写真の実データ差し替え、QR コード差し替え、印刷のためのフィニッシュワークなど。これらを含む版下制作／下版作業をご依頼の場合は、別途お見積り申し上げます。

※注 5： 流し込み後の弊社チェック：

基本的に弊社が翻訳した外国語テキストのみのチェックとなります（弊社の翻訳とは別にお客様のほうでご用意された翻訳がデザインに入っている場合も基本的に弊社ではチェックを行いません）。また、お客様が流し込まれた外国語テキストの配置や改行、フォント等に、校正レベルを超えた過度な誤謬がある場合、別途料金が発生する可能性があります。

※注 6： 翻訳の著作権、二次使用について：

翻訳料金は、基本的に一次使用のみにおける料金となります。弊社で翻訳した成果物をお客様のほうで無断で流用して二次使用（もしくは多次使用）される場合は、弊社としては一切責任を負えません。最初から、二次使用することがわかっている場合は、そのようにお伝えください。条件付きで見積もりを作成いたします。一次使用で終わるはずが、時間をおいてから二次使用される場合は、別途料金がかかる場合もございますので、ご一報くださいませ。

※注 7： 翻訳の賠償責任について：

弊社側のミスで賠償問題が発生した場合、弊社が請け負った該当案件の料金の範囲内でしかご対応できませんのでご了承ください。

Column 翻訳を、言葉を、ナメないでください。

同じ言語も、地域・世代・民族で変化する

ほとんどの日本人は、英語＝アメリカ英語だと思っています。しかし、ヨーロッパで英語と言え一般的にはイギリス英語ですし、国連ももともとイギリス英語を使っています。アジアでも日本とフィリピン以外はほとんどがイギリス英語の洗礼を受けています。同じ英語でも、米語と英語はずいぶん違います。もちろんオーストラリア英語とカナダ英語も、それぞれに特色を持っています。言葉というのは、その地域、地域で独自に変化し成長します。日本国内の「方言」を見てもわかるように、各地域で全然違います。たとえば北海道人が距離的にも近い青森の田舎に行って地元のおばあちゃんと話をし、言葉は通じるのでしょうか？ 距離は関係ありません。言葉はその土地の風土や文化で変化します。言葉は地域や世代、民族によって変化・成長するととても繊細な「生き物」なのです。だから、シンガポールではシングリッシュが生まれ、歴史上もピジンイングリッシュやクレオール語が生まれました。

北京で生まれ育った中国人が同じ中国の上海に行っても言葉は通じません。「中国も台湾も香港も、同じ中国語なんだから、同じようなもの shouldn't it?」いいえ、全然違います。プロの翻訳会社の視点で言えば、中国人が使う中国語と、台湾人が使う中国語と香港人が使う中国語は、**全然違います**。文字も違いますし、表現の仕方もニュアンスもまるで違います。だから、台湾人が、香港に行き新聞を読んでも、理解できないところが多々あります。文字は同じ繁体字中国語なのにです。それは、香港の中国人が元々広東語を使っているのに対し、台湾の中国人は北京語が標準語に近い形で使われているからです。だから同じ繁体字でも、台湾人は「これは香港人が書いた文章だ」とすぐにわかります。逆もそうです。

簡体字中国語を使う中国人の翻訳者に、「これ台湾の繁体字中国語なんだけど、〇〇さん、チェックできる？」と聞くと、ほとんどの中国人は「全然大丈夫。問題ありません。チェックできますよ」と答えます。この言葉を鵜呑みにしてチェックを頼むのが「素人」で、絶対に頼まないのが「プロ」です。残念ながら、この言葉を信用してはいけません。実際に、**全然大丈夫ではありません**。逆に大きな問題が発生することになります。

最後に一つ例をお話ししましょう。日本の大企業が、台湾（全国放送）向けのCMを作りました。ビジュアルは北海道の大自然を背景にした、壮大でカッコいいCMです。ナレーションもとてもカッコいいナレーションでした。ところが、台湾に行き試写会を行うと、始まってすぐに会場の台湾人たちは一斉に「大爆笑」を始めました。もともとそのCMに「笑い」の要素は一切ありません。なぜこのような事態になったのか。実はそのCMを作ったプロダクションの社長が、ナレーターに「台湾人」ではなく「中国人」を起用したのです。同じ中国語だし、なんなら大陸のほうが正当な中国語だろうと。それが大きな間違いでした。発音も違えばイントネーションも違う。台湾人がそのCMを見ると、キムタクが青森の方言でスカして話しているようななんとも珍妙なナレーションに聞こえたそうです。逆にCMを中国人に見せると、とても素敵なカッコいいCMだと評価が高かったそうです。もちろん、CMはすべて作り直しでした。

結論：このような背景をきちんと理解した上で翻訳を行っているのが私たち「プロ」の翻訳会社です。※注2の5のような事態が発生すると大きな問題になります。そのような事態を避けるためにも私たち「プロ」をぜひ信頼していただきたいのです。